



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4042 URL <https://www.tosoh.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 寿宣  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室長 (氏名) 米澤 啓 (TEL) 03-5427-5123  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	396,352	△6.6	40,417	△27.8	41,859	△31.1	26,773	△35.8
2019年3月期第2四半期	424,459	8.4	56,003	2.8	60,747	4.3	41,672	3.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 25,705百万円(△38.6%) 2019年3月期第2四半期 41,874百万円(△6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	82.44	82.36
2019年3月期第2四半期	128.34	128.18

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	870,691	595,825	63.8
2019年3月期	878,194	579,501	61.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 555,628百万円 2019年3月期 540,836百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2020年3月期	—	28.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800,000	△7.1	84,000	△20.6	86,000	△23.9	57,000	△27.0	175.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。詳細は、添付資料の9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	325,080,956株	2019年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	243,208株	2019年3月期	345,105株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	324,779,542株	2019年3月期2Q	324,708,428株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
3. 補足情報	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)のわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復が続きました。一方、世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中国の景気減速、英国のEU離脱問題など貿易や地政学的な情勢をめぐる不透明感の増大により減速を続けております。製造業を中心に景況判断に慎重な見方も増えてきており、その先行きは依然見通しづらい状況となっております。

このような情勢下、当社グループの連結業績は、売上高については、エンジニアリング事業における電子産業分野での大型プロジェクトの進捗等はあったものの、ナフサ価格や海外製品市況の下落に伴う販売価格の下落による影響が大きく、3,963億52百万円と前年同期に比べ281億7百万円(6.6%)の減収となりました。営業利益については、販売価格の下落による交易条件の悪化や在庫受け払い差の悪化により、404億17百万円と前年同期に比べ155億85百万円(27.8%)の減益となりました。経常利益については、円高進行により為替差損に転じたことにより、418億59百万円と前年同期に比べ188億87百万円(31.1%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、267億73百万円と前年同期に比べ148億98万円(35.8%)の減益となりました。

## 石油化学事業

エチレン、プロピレン及びキユメンは、非定修年による生産量の増加に伴い出荷が増加しましたが、ナフサ価格及び海外市況の下落により製品価格は下落いたしました。

ポリエチレン樹脂は、太陽電池封止膜用途で輸出が増加いたしました。また、ナフサ価格の下落を反映して製品価格は下落いたしました。クロロプレングムは、アジア向けを中心に輸出が減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ104億円(11.1%)減少し835億17百万円となり、営業利益は前年同期に比べ26億76百万円(33.5%)減少し53億15百万円となりました。

## クロル・アルカリ事業

苛性ソーダは、国内需要の停滞などにより出荷が減少いたしました。また、海外市況の下落により輸出価格は下落いたしました。塩化ビニルモノマーは、生産量の減少に伴い出荷が減少いたしました。また、海外市況の下落などにより製品価格は下落いたしました。塩化ビニル樹脂は、生産量の増加に伴い出荷が増加しましたが、海外市況の下落により製品価格は下落いたしました。

セメントは、国内出荷は減少しましたが、輸出は増加いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)は、海外市況の下落により輸出価格は下落いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ212億39百万円(12.6%)減少し1,474億65百万円となり、営業利益は前年同期に比べ138億26百万円(55.2%)減少し112億33百万円となりました。

## 機能商品事業

エチレンアミンは、需要低迷により出荷が減少いたしました。また、海外市況の下落により輸出価格は下落いたしました。

計測関連商品は、欧州向けを中心に液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が減少いたしました。診断関連商品は、欧米向けで体外診断用医薬品の出荷が減少いたしました。

ハイシリカゼオライトは、環境分野での需要停滞などにより出荷が減少いたしました。ジルコニアは、装飾品用途で出荷が減少いたしました。石英ガラスは、半導体市場の停滞により出荷が減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ41億91百万円(4.3%)減少し942億42百万円となり、営業利益は前年同期に比べ39億45百万円(20.4%)減少し153億59百万円となりました。

## エ ン ジ ニ ア リ ン グ 事 業

水処理事業は、電子産業分野において大型プロジェクトの工事が順調に進捗したことに加え、各分野のソリューションサービスが好調に推移したことなどから、売上高が増加いたしました。

建設子会社の売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ75億83百万円（18.1%）増加し494億75百万円となり、営業利益は前年同期に比べ48億32百万円（204.2%）増加し71億99百万円となりました。

## そ の 他 事 業

商社等その他事業会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ1億40百万円（0.7%）増加し216億52百万円となり、営業利益は前年同期に比べ30百万円（2.4%）増加し13億10百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、前期末に比べ75億3万円減少し8,706億91百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少等により、前期末に比べ238億26百万円減少し2,748億65百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末に比べ163億23百万円増加し5,958億25百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内経済は内需にけん引される形で緩やかに回復を続けることが期待されます。しかし、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などに端を発する世界経済の減速は続いており、輸出の低迷が長期化すれば景気のけん引役を失うおそれもあり、その先行きは引き続き予断を許さない状況にあります。

このような状況の下、当社グループといたしましては、世界経済の減速に伴う需要縮小や各国の金融政策に伴う円高進行、中東地域などの地政学リスクに起因する原燃料価格の高騰などが業績変動リスクになると考えており、原燃料・製品市況や為替の変動に適切に対応しつつ、販売数量の維持・拡大、コスト低減、製造設備の安定操業など、収益力の維持・強化に向けてあらゆる施策を実施してまいります。

通期の業績予想につきましては、2019年5月9日に公表した予想値を下記の通り修正いたしました。

なお、通期業績における下期の前提については、国産ナフサ価格を41,000円/KL、為替レートを105円/US\$としております。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 860,000	百万円 95,000	百万円 100,000	百万円 67,000	円 銭 206.32
今回修正予想 (B)	800,000	84,000	86,000	57,000	175.50
増 減 額 (B-A)	△60,000	△11,000	△14,000	△10,000	
増 減 率 ( % )	△7.0	△11.6	△14.0	△14.9	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	861,456	105,739	113,027	78,133	240.62

詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	93,974	94,482
受取手形及び売掛金	227,274	205,482
商品及び製品	97,257	98,332
仕掛品	9,198	11,031
原材料及び貯蔵品	44,106	42,901
その他	29,610	26,710
貸倒引当金	△661	△668
流動資産合計	500,759	478,272
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	85,533	90,471
土地	72,102	71,889
その他（純額）	118,071	128,132
有形固定資産合計	275,708	290,493
無形固定資産		
	4,646	4,531
投資その他の資産		
投資有価証券	57,369	55,989
退職給付に係る資産	22,145	22,287
その他	18,144	19,704
貸倒引当金	△579	△587
投資その他の資産合計	97,079	97,394
固定資産合計	377,434	392,419
資産合計	878,194	870,691

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,723	86,901
短期借入金	72,146	68,751
未払法人税等	15,620	12,075
引当金	10,656	12,165
その他	38,106	39,251
流動負債合計	242,253	219,145
固定負債		
長期借入金	28,925	28,433
引当金	2,638	1,270
退職給付に係る負債	20,391	20,721
その他	4,484	5,295
固定負債合計	56,439	55,720
負債合計	298,692	274,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	45,041	45,161
利益剰余金	430,733	448,405
自己株式	△327	△230
株主資本合計	530,620	548,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,853	10,856
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△4,276	△6,060
退職給付に係る調整累計額	2,639	2,322
その他の包括利益累計額合計	10,216	7,118
新株予約権	297	270
非支配株主持分	38,367	39,926
純資産合計	579,501	595,825
負債純資産合計	878,194	870,691

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	424,459	396,352
売上原価	311,562	297,114
売上総利益	112,897	99,238
販売費及び一般管理費	56,893	58,820
営業利益	56,003	40,417
営業外収益		
受取利息	143	217
受取配当金	1,331	810
為替差益	2,733	-
持分法による投資利益	646	695
受取保険金	161	2,901
その他	973	1,117
営業外収益合計	5,990	5,742
営業外費用		
支払利息	597	569
為替差損	-	3,271
その他	648	460
営業外費用合計	1,245	4,301
経常利益	60,747	41,859
特別利益		
固定資産売却益	324	16
投資有価証券売却益	97	105
特別利益合計	421	121
特別損失		
固定資産売却損	13	2
固定資産除却損	1,072	1,002
投資有価証券評価損	2	-
減損損失	57	-
特別損失合計	1,146	1,005
税金等調整前四半期純利益	60,022	40,976
法人税等	17,602	12,023
四半期純利益	42,420	28,953
非支配株主に帰属する四半期純利益	748	2,179
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,672	26,773



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	42,420	28,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,908	△984
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	△2,462	△1,848
退職給付に係る調整額	192	△291
持分法適用会社に対する持分相当額	△183	△123
その他の包括利益合計	△546	△3,247
四半期包括利益	41,874	25,705
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,338	23,676
非支配株主に係る四半期包括利益	535	2,028

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	60,022	40,976
減価償却費	16,731	16,317
減損損失	57	-
退職給付に係る資産負債の増減額	△61	△218
受取利息及び受取配当金	△1,475	△1,027
支払利息	597	569
為替差損益 (△は益)	△133	110
持分法による投資損益 (△は益)	△646	△695
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	-
固定資産売却損益 (△は益)	△310	△14
固定資産除却損	1,072	1,002
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,648	20,601
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,514	△2,700
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,701	△17,770
その他	△12,820	5,159
小計	48,574	62,310
利息及び配当金の受取額	1,725	1,389
利息の支払額	△618	△598
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△27,219	△16,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,461	47,007
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△29,879	△30,291
固定資産の売却による収入	704	271
投資有価証券の取得による支出	△65	△136
投資有価証券の売却及び償還による収入	104	273
貸付けによる支出	△1,840	△1,500
貸付金の回収による収入	1,972	1,501
その他	△1,668	△2,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,673	△32,676
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,161	1,801
長期借入れによる収入	2,120	4,120
長期借入金の返済による支出	△10,809	△9,232
配当金の支払額	△10,376	△9,078
非支配株主への配当金の支払額	△202	△308
その他	△81	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,188	△12,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	△788	△756
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△23,188	775
現金及び現金同等物の期首残高	106,178	92,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,990	92,870

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

従来、当社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法については、主として定率法（ただし、建物並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法）を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

この変更は、中期経営計画（2019-2021年度）の策定を契機に減価償却方法を検討した結果、今後生産設備が長期にわたり安定的に稼働することが見込まれ、投資効果が平均的に生ずると見込まれることから、定額法がより合理的と判断したことによるものであります。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第2四半期連結累計期間の営業利益は1,625百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は1,634百万円それぞれ増加しております。

## (セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	93,917	168,704	98,433	41,892	21,512	424,459	—	424,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,394	14,958	6,917	8,360	26,805	105,436	△105,436	—
計	142,311	183,663	105,350	50,252	48,317	529,895	△105,436	424,459
セグメント利益	7,992	25,059	19,304	2,366	1,280	56,003	—	56,003

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	83,517	147,465	94,242	49,475	21,652	396,352	—	396,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39,358	14,952	6,130	10,585	28,696	99,725	△99,725	—
計	122,876	162,417	100,373	60,061	50,349	496,077	△99,725	396,352
セグメント利益	5,315	11,233	15,359	7,199	1,310	40,417	—	40,417

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に記載のとおり、従来、当社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法については、主として定率法(ただし、建物並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法)を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は「石油化学」については360百万円、「クロル・アルカリ」については846百万円、「機能商品」については418百万円それぞれ増加しております。

## 3. 補足情報

## 2019年度第2四半期連結決算概要

2019年10月31日

東ソー株式会社

## (1)業績

(単位:億円)

	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増 減	2018年度	2019年度(予想)
売 上 高	4,245	3,964	△ 281	8,615	8,000
営 業 利 益	560	404	△ 156	1,057	840
経 常 利 益	607	419	△ 189	1,130	860
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	417	268	△ 149	781	570
1株当たり四半期(当期)純利益	128円34銭	82円44銭	△45円90銭	240円62銭	175円50銭

## (2)指標

	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増 減	2018年度	2019年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	110.3	108.6	△ 1.7	110.9	106.8
為替[TTM期中平均](円/EUR)	129.8	121.4	△ 8.4	128.4	120.7
国産ナフサ価格(円/KL)	51,100	42,750	△ 8,350	49,400	41,875

設 備 投 資 額	319	297	△ 23	648	630
減 価 償 却 費	150	149	△ 1	313	320
研 究 開 発 費	81	88	7	166	180
期 末 有 利 子 負 債	1,039	972	△ 67	1,011	970
金 融 収 支	9	5	△ 4	10	7
自 己 資 本 比 率 ( % )	60.9	63.8	2.9	61.6	64.0
期 末 従 業 員 数 ( 人 )	12,968	13,376	408	12,955	13,400

(注)億円未満は四捨五入

## (3)トピックス

- 2019年 5月 PIII社が塩化ビニル樹脂製造設備の生産能力を増強
- 2019年 6月 南陽事業所のジルコニア粉末製造設備の生産能力を増強
- 2020年 春 予定 ナフサ分解炉効率化及びガスタービンの設置  
(ガスタービンは2019年2月先行稼働)
- 2021年 秋 予定 クロロプレングム(CR)の生産能力を増強

## (4) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	939	835	△ 104	24	△ 128	—	—
	営業利益	80	53	△ 27	△ 5	—	5	△ 27
クロル・アルカリ	売上高	1,687	1,475	△ 212	△ 17	△ 196	—	—
	営業利益	251	112	△ 138	0	—	△ 63	△ 76
機能商品	売上高	984	942	△ 42	△ 37	△ 5	—	—
	営業利益	193	154	△ 39	△ 29	—	2	△ 12
エンジニアリング	売上高	419	495	76	80	△ 4	—	—
	営業利益	24	72	48	47	—	0	1
その他	売上高	215	217	1	2	△ 1	—	—
	営業利益	13	13	0	0	—	0	0
合計	売上高	4,245	3,964	△ 281	53	△ 334	—	—
	営業利益	560	404	△ 156	14	—	△ 56	△ 113

(注)億円未満は四捨五入

## (5) 業績予想

(単位:億円)

		2018年度	2019年度(予想)	増 減	2019年度(予想)内訳	
					上期	下期
石油化学	売上高	1,839	1,599	△ 240	835	764
	営業利益	134	117	△ 17	53	64
クロル・アルカリ	売上高	3,374	3,010	△ 364	1,475	1,536
	営業利益	460	279	△ 181	112	167
機能商品	売上高	1,974	1,924	△ 51	942	981
	営業利益	353	307	△ 47	154	153
エンジニアリング	売上高	989	1,034	45	495	539
	営業利益	83	113	30	72	41
その他	売上高	438	434	△ 4	217	217
	営業利益	27	24	△ 3	13	11
合計	売上高	8,615	8,000	△ 615	3,964	4,036
	営業利益	1,057	840	△ 217	404	436

(注)億円未満は四捨五入